



高校生主体で行った
白石市初の野外ロックフェス



4~7・9_白石城をバックに、熱い演奏と歌声を披露する高校生たち。力の込められたパフォーマンスに会場が盛り上がりました 8_シークレットバンドとして開幕を飾った、各高校の軽音楽部顧問らのバンド 10・11_ゲスト出演した「鳥谷部天水」さんと「BUSTERCALL」さん。独自の世界観や、高校生への熱いメッセージを歌い上げました

白石大合戦

しらいしじゃねえ「しろいし」だ

白石城に鳴り響いた
若者の情熱と感性

11月4日、白石城本丸広場で野外ロックフェス「しろいし」が開幕された。白石高等学校と白石工業高等学校の生徒が主体となったこのイベントは、当市のシンボルである白石城を舞台に、音楽を通じて白石の魅力発信し、若者に地元への愛着心を深めてもらい、移住・定住者の増進につなげようと企画したもの。両校の生徒15人が実行委員会を立ち上げ、企画の立案や運営のほか、タイトルロゴやホームページ、チラシ、ポスターの製作などを進めてきました。

晴天に恵まれたこの日は、両校の軽音楽部で活動するバンドや、宮城第一高等学校と尚綱学院高等学校のバンド、仙台と白石にゆかりのあるミュージシャンなど11組が出演。会場には約200人の観客が訪れ、若者たちの情熱と感性あふれる音楽を楽しんでいました。

白石の特色あるイベントに！

高校生が主催する音楽イベントは初めての取り組みで、勝手が分からず至らないこともありましたが、会場はとても盛り上がり、自分たちも楽しく運営できました。このイベントに関わってとてもよかったです。協力いただいた実行委員や関係者、出演バンドの皆さんに感謝しています。

お城の前で行う音楽フェスは、全国でも希少なものです。これからも継続して開催し、白石の特色ある音楽イベントにできればいいと思います。



(左から) 実行委員長の長山凌さん(白石高)、岡田あみかさん(白工高)、実行委員の加藤楓人さん(白石高)



1_9月にスタートした実行委員会。タイトルの「白石大合戦」には、白石らしさとして戦国時代の戦のイメージを込めました 2_アイデアを膨らませて話し合う実行委員の皆さん 3_タイトルロゴの筆文字は、書道をやっていた実行委員が手掛けました